

平成 24 年

長野県の災害と気象

長野県

目次

災害番号	災害の種類(名称)	災害発生日(期間)	災害発地域(場所)	頁
1	雪害(1月~3月)	1月~3月	上田市以下4地域13市町村	1
2	土砂災害	1月7日	長野市	21
3	低温	2月~4月	佐久市以下4地域9市町村	25
4	土砂災害	3月5日~6日	伊那市以下2地域3市町村	43
5	突風	3月22日	松本市以下2地域2市町村	47
6	地すべり	3月24日~8月17日	小川村	49
7	強風	4月3日	佐久市以下6地域14市町村	85
8	地すべり	4月6日	長野市	89
9	地すべり	4月18日~9月7日	長野市	93
10	地すべり	4月29日~6月27日	飯山市	131
11	雪害・融雪(4月~)	4月~	長野市以下2地域3市町村	143
12	土砂災害	5月3日	諏訪市	153
13	凍霜害	5月13日	松本市以下2地域5市町村	157
14	降ひょう	5月17日	下條村	159
15	地すべり	5月28日~8月29日	小川村	161
16	豪雨	6月3日	長野市	187
17	豪雨	6月8日	軽井沢町	189
18	梅雨前線・台風4号豪雨	6月19日~6月22日	佐久市以下2地域10市町村	191
19	豪雨	7月6日~7月7日	宮田村以下4地域7市町村	195
20	豪雨	7月9日	佐久市以下2地域5市町村	199
21	地震	7月10日	中野市以下1地域3市町村	203
22	豪雨	7月10日~7月13日	諏訪市以下4地域9市町村	205
23	豪雨	7月20日~7月21日	立科町以下4地域6市町村	209
24	豪雨	7月28日~30日	小諸市以下5地域14市町村	213
25	豪雨	8月6日	長野市	219
26	豪雨	8月14日	佐久市	223
27	豪雨・降ひょう・落雷	8月17日	上田市以下8地域11市町村	225
28	落雷・降ひょう	8月18日	伊那市以下2地域2市町村	229
29	雷雨	8月30日	上田市以下4地域5市町村	233
30	豪雨	9月11日	長野市	237
31	強風	9月17日	長野市	239
32	台風17号	9月30日~10月1日	佐久市以下4地域12市町村	241
33	凍霜害	10月13日	小諸市	245
34	雪害(12月)	12月1日~12月31日	岡谷市以下5地域6市町村	247
参考文献				257
資料				258
1	平成24年災害別被害状況			259
2	平成24年に発生した震度4以上の地震状況			260
3	気象観測所一覧表			266
4	気象観測所配置図			267
5	長野県の注意報・警報発表基準			268
6	長野県の注意報・警報発表区域			282

用語解説

本書に使用した気象用語は、気象庁が定める下記の基準に従った。

項目	用語	意味
気圧配置	高気圧	高さの同じ面で、周囲より気圧が高く、閉じた等圧線に囲まれた所。高気圧の中心付近では上空から空気が下降気流となって降りてくるため一般に雲が少ない。
	移動性高気圧	温帯低気圧や気圧の谷と交互に通過する高気圧。春、秋に多く現れる。
	大陸の高気圧	主として冬期に大陸に存在する高気圧。シベリア高気圧もこれに含まれる。
	太平洋高気圧	夏期を中心に強まる高気圧で、その中心はハワイ諸島の北付近にある。
	低気圧	高さの同じ面で、周囲より気圧が低く、閉じた等圧線に囲まれた所。低気圧は温帯低気圧と熱帯低気圧に分けられるが、単に「低気圧」という場合は温帯低気圧のことをいう。
	気圧の谷	高圧部と高圧部間の気圧の低い所。
	温帯低気圧	中緯度や高緯度に発生する低気圧。通常は単に「低気圧」という。
	熱帯低気圧	熱帯または亜熱帯地方に発生する低気圧の総称。
	台風	北太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、中心付近の風力の最大が8（風速17.2m/s以上）のもの。
	冬型の気圧配置	日本の西側の大陸側が気圧が高く、東側で気圧が低い、「西高東低」の気圧配置。主に冬期に現れる。
天気	天気	気温、湿度、風、雲量、視程、雨、雪、雷などの気象に関する要素を総合した大気の状態。
	快晴	雲量が全天を10とした時、1以下の状態。
	晴れ	雲量が2以上8以下の状態。
	曇り	雲量が9以上で、中・下層の雲が上層の雲より多く、降水がない状態。
	薄曇り	雲量が9以上で、上層の雲が中・下層の雲より多く、降水がない状態。
雨	雷雨	雷を伴う雨。
	ひょう	積乱雲から降る直径5mm以上の氷塊。
	豪雨	1時間雨量又は3時間雨量の少なくとも一方が大雨警報基準を超え、又は、24時間雨量が警報基準を超える大雨。
	集中豪雨	狭い範囲における豪雨。局地的な豪雨。
	局地的な大雨	狭い範囲における大雨。
	大雨	大雨注意報基準以上の雨。
	やや強い雨	雨量強度が、1時間におよそ10mm以上20mm未満の雨。
	強い雨	雨量強度が、1時間におよそ20mm以上30mm未満の雨。
	激しい雨	雨量強度が、1時間におよそ30mm以上50mm未満の雨。
雪	あられ	積乱雲から降る直径5mm未満の氷の粒。
	みぞれ	雨まじりに降る雪。又は、解けかかって降る雪。
	大雪	大雪注意報基準以上の雪。
	強い雪	降雪量が1時間に3cm以上の雪。
	弱い雪	降雪量が1時間に1cmに達しない雪。
	小雪	数時間降り続いても、降水量として1mmに達しない雪。
	降雪量	降雪の深さ（cm単位）。本書では、毎正時積雪の差がプラスだった場合にその値を降雪量とし、その日合計値を日降雪量とした。
	積雪（の深さ）	積もった雪の深さ（cm単位）。
	最深積雪	1日に複数回観測したうちの最も深い積雪値。

項目	用語	意味
気温・湿度	気温	通常は地上 1.25~2.0m の大気の温度を℃単位で表す。
	日平均気温	日平均気温は 1 時から 24 時までの毎正時 24 回の観測値の平均。
	最低（最高） 気温	通常は日最低（最高）気温のこと（日界は午前 0 時）。
	寒波	主として冬期に、広い地域に 2~3 日、又はそれ以上にわたって顕著な気温の低下をもたらす寒気が到来すること。
	寒気	周りの空気に比べて低温な空気。
	暖気	周りの空気に比べて高温な空気。
	放射冷却	地表面の熱が放射によって奪われ、気温が下がること。
	大気の状態が不安定	局地的な対流活動が起こりやすいこと。上空に寒気が流れ込んだり、下層に暖かく湿った空気が入った場合に生じることが多い。
	暖湿気流	周りの空気に比べて高温で、かつ湿った空気。
	湿潤（湿った） 空気	湿度が高い空気。目安として湿度がおおよそ 80% 以上の状態をいう。
	湿度	普通は相対湿度のこと。相対湿度は水蒸気量と、その時の気温における飽和水蒸気量との比を百分率で表したものの。
風	風向	風の吹いてくる方向。観測では 16 または 36 方位を用いる。
	（南）よりの風	風向が（南）を中心に（南東）から（南西）の範囲でばらついている風。
	風速	10 分間平均風速を指し、毎秒〇. 〇m、または〇. 〇m/s と表す。
	最大風速	10 分間平均風速の最大値。
	最大瞬間風速	瞬間風速の最大値。
	やや強い風	風速がおおよそ 10m/s 以上 15m/s 未満の風。
	強い風	風速がおおよそ 15m/s 以上 20m/s 未満の風。
	非常に強い風	風速がおおよそ 20m/s 以上 30m/s 未満の風。
	暴風	「非常に強い風」に同じ。台風などの暴風域は平均風速がおおよそ 25m/s 以上の領域。
	猛烈な風	風速がおおよそ 30m/s 以上、または最大瞬間風速がおおよそ 50m/s 以上の風。
	強風	風の強い状態の総称。